

総合2023 自分軸を考える～なに、なぜ、どうする～

第17回 10月26日（木）13:00～14:30

想像を超えたところに 自分軸はある



和田静香氏

フリーランス、ライター

会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

音楽評論家／作詞家・湯川れい子さんのアシスタントを経て、音楽ライターとしてデビューする。しかし40代以降に人生が迷走し、それをそのまま書くように。コロナ禍には進退窮まって、「この生きづらさをどうしたらいい？」と国会議員に直接ぶつけ、対話を重ね、「時給はいつも最低賃金、これって私のせいですか？ 国会議員に聞いてみた。」（左右社）を書いてベストセラーとなる。以降は主に政治／社会について書いている。最新刊は「50代で一足遅れてフェミニズムを知った私がひとりで安心して暮らしていくために考えた身近な政治のこと」（左右社）。YouTubeの政治番組「ポリタスTV」のMCも。

<担当スタッフより>

家族や友達の意見・考え方・感じ方と、自分のそれらが異なる時、みなさんは自分と他者との違いをどのように捉えますか。例えば、自分とは違う他者に対し、嫌悪感を抱く人がいるかもしれません。他方で、自分と他者とは育った環境が違うのだから考え方が違うのは当たり前、と割り切る人もいるかもしれません。和田さんはライターというお仕事を通して、大勢の人と対話を重ねてきました。もちろん、自分と異なる考え方を持つ人と出会うこともありますが、和田さんは、その違いを自分の中に取り込むことにより、自分の想像をはるかに超えた新たな自分に出会うことができると言います。みなさんにとって和田さんのご講演が、他者との対話の先にある自分軸とはどのようなものなのかについて考える機会となることを願っています。